CX-Programmer における境界外読み取りの脆弱性

公開日 2025 年 2 月 17 日
最終更新日 2025 年 3 月 10 日
オムロン株式会社

■概要

CX-Programmer において、境界外読み取り（CWE-125）の脆弱性が存在することが判明しました。攻撃者は当該脆弱性を用いて、機密情報を読み取ったり、クラッシュを引き起こしたりする可能性があります。
この脆弱性の影響を受ける製品、バージョン、および軽減策・回避方法を以下に示します。弊社が推奨する軽減策・回避策を実施することで、本脆弱性の悪用リスクを最小限に抑えることができます。また、お客様に製品をより安心して利用いただくために、今回製品セキュリティ強化の対策バージョンを用意いたしました。各製品の対策バージョンの提供について本文の対策方法に示しますので、対策の実施をお願いいたします。

■対象製品

本脆弱性の影響を受ける製品の形式、およびバージョンは以下の通りです。

FA 統合ツールパッケージ CX-One

製品名	形式	対象バージョン
CX-Programmer	CX-One Ver.4 (CXONE-AL□□D-V4) *CX-Programmer は、CX-One に含まれます。	Ver.9.83 およびそれ以前

対象バージョンの確認方法は、以下のマニュアルの「機能一覧 バージョン情報」を参照してください。

- CX-Programmer Ver.9.□ オペレーションマニュアル（SBCA-337）

■脆弱性内容

CX-Programmer において、境界外読み取り（CWE-125）の脆弱性が存在します。攻撃者は当該脆弱性を用いて CX-Programmer から機密情報を読み取ったり、CX-Programmer のクラッシュを引き起こしたりする可能性があります。
なお、CX-Programmer をインストールしたパソコンおよびオンライン接続した PLC に影響はありません。

■CWE、CVE、CVSS スコア

境界外読み取り (CWE-125)
CVE-2025-0591
CVSS:3.1/AV:L/AC:L/PR:N/UI:R/S:U/C:H/I:H/A:H 基本値 7.8

■対策方法

各製品を対策バージョンに更新することで、本脆弱性の対策が可能です。

以下に各製品の対策バージョン、および対策バージョンの提供時期を示します。

FA 統合ツールパッケージ CX-One

製品名	形式	対策バージョン	対策バージョン提供時期
CX-Programmer	CX-One Ver.4 (CXONE-AL□□D-V4) *CX-Programmer は、CX-One に含まれます。	Ver.9.84 以降	2025 年 1 月 8 日

対策バージョンの入手および更新方法については、以下のリンク先を参照ください。

https://www.fa.omron.co.jp/product/tool/install_manual/index.html

■軽減策・回避策

本脆弱性の悪用リスクを最小限に抑えるため、以下に示す軽減策を講じることを推奨します。

1. アンチウィルス保護

   制御システムに接続するパソコンに最新の商用品質のウイルス対策ソフトの導入・保守

2. 不正アクセスの防止

   以下に示す対策を講じることを推奨します。

   - 制御システムや装置のネットワーク接続を最小限に抑え、信頼できないデバイスからのアクセス禁止
   - ファイアウォールの導入による IT ネットワークからの分離（未使用通信ポートの遮断、通信ホストの制限）
   - 制御システムや装置へのリモートアクセスが必要な場合、仮想プライベートネットワーク (VPN)の使用
   - 強固なパスワードの採用と頻繁な変更
   - 権限保有者のみを制御システムや装置へのアクセスを可能とする物理的統制の導入
   - 制御システムや装置で USB メモリなど外部ストレージデバイスを使用する場合の事前ウイルススキャン
   - 制御システムや装置へのリモートアクセス時の多要素認証の導入

3. データ入出力の保護

   制御システムや装置への入出力データの意図せぬ改変に備えた、バックアップや範囲チェックなどの妥当性の確認

4. 紛失データの復元

   データ紛失対策としての定期的な設定データのバックアップと保守

■お問い合わせ先

当社営業または販売店にお問い合わせください。

国内お問い合わせ先：https://www.fa.omron.co.jp/sales/local/

海外お問い合わせ先：https://www.ia.omron.com/global_network/index.html

■謝辞

Michael Heinzl 氏から JPCERT/CC を通じて本脆弱性が報告されました。
脆弱性を発見、報告いただいた Michael Heinzl 氏に感謝いたします。

■更新履歴

2025 年 2 月 17 日: 新規作成
2025 年 3 月 10 日: 脆弱性内容修正